

緩和ケア看護認定看護師

がん性疼痛看護の実際

開催時期：2019年9月

参加者（職種）看護師、47名

内容：疾患及び病期別治療の知識を深め、日々の看護ケアに活かすことを目的にし、体の各部位を考慮した疼痛看護の実際について知識を深められるよう、事例を多く取り入れ、アセスメントのポイントや看護の視点を提示しました。


アンケート結果：

講義の理解度は90%以上が「よくわかった」と回答。

実践への応用は95%以上が「役に立つ」と回答。

患者さんの痛みや苦しみに寄り添うには寄り添うに足るだけの十分な知識が必要だと感じたという意見がありました。

身体部位別疼痛アセスメントと臓器別アセスメントに分類しそれぞれの看護ケアのポイントを入れ、実践で役立つよう簡易マニュアル仕様にしました。実践の場で役立っています。



- 頭痛
- 口の中の違和感
- 目・耳の感覚異常
- 手足の痛み
- 胸痛
- 背部痛
- 腹痛
- 排泄に関連する痛み

身体部位別疼痛アセスメント

臓器別疼痛アセスメント



- 消化器がん
- 呼吸器がん
- 乳がん
- 婦人科がん
- 泌尿器がん
- 骨転移痛